



園長コーナー 「かえでの行事の取り組み方」

先日行われました、『夏祭り』はいかがでしたか？ 楽しかったですね！

朝から、とてもいい天気！順調に準備をすませ、園庭には、新しいピカピカの提灯をかけた途端に、大粒の雨・・・急遽、園内使用に変更し、開始しました。初めての取り組みでしたが、名札の着用、靴の管理、ゴミの持ち帰り、園内でのマナーも守っていただき、保護者の方々のご理解ご協力にうれしく思いました。そして子どもたちのかわいい盆踊りで楽しい時間も締めくくれ、雨の中の行事でしたが、良い思い出となりました。

さて、かえでの行事の取り組みは、常に『子どもたちとともに』を考えて計画しています。

『親子の集い』は、保護者の方々に見せるための活動ではなく、子どもたちの園での生活を少しだけの時間でしたが、体験していただき園生活の楽しさを味わっていただきました。

今回『夏祭り』はだいちぐみの子どもたちが企画した「お化け屋敷」・・・自分が役割を果たすことで、通常のお祭りとはまた違った思い出ができたと思います。

このように子どもたち主体の行事を体験することで、人とのやり取りの中で自分の意見を言葉で表現することを知り、みんなで考え、自分たちの責任において実行する、その中でやり遂げた時は本当の楽しさを味わえるでしょう。そして人と人とのやりとりの中には、良いことばかりではなく、かかわりの中で悔しい思いや、我慢するしんどさ、もどかしさ複雑な思いも体験します。そこで感じた嫌な気持は、やがて自己解決力にもつながっていくでしょう。かえで保育園の生活の中で、保育者が仲立ちし、子どもたちの声や発見をうまく導き、たくさんの実体験をしていってほしいと思います。

これから取り組む行事として、9月は「おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぶ会」「遠足」
10月は「運動発表会」、11月は「保育参観（給食試食も）」12月「クリスマス会」
など・・・

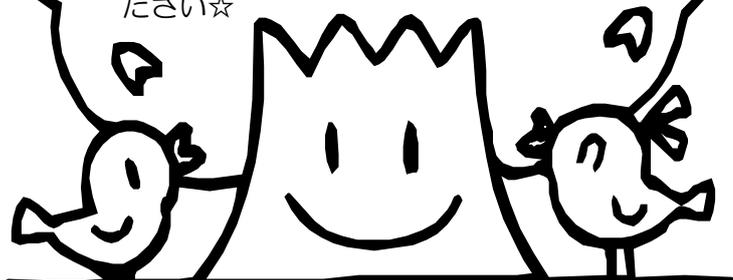


子どもたち主体の行事を考え、素敵な思い出の残る行事をすすめていきたいと思います。お楽しみに！

引地 美津代

にこにこ広場

にこにこ広場ではみんなが集って、子どもたちの様々な一面を垣間見れる機会を設けたいと考え、子どもたちの園でのふとしたつぶやきや様子を書いて掲示しています。
園で見せてくれる顔とご家庭で見せる顔もまた、違いがあり、子どもたちの新たな一面を見る事ができるかと思えます。
保護者の方も是非エピソードをお書きください☆



にこにこ広場9月のテーマは「えがお」です

「タンタンのぼうし」



作・絵 いわむら かずお

子どもたちも大好きな、おさるのタンタンシリーズのうちの1冊です。

タンタンのお気に入りのぼうしからバツタが出てきたりお星様がでてきたり！

絵も、とても可愛く、絵本をめくるたびに様々な展開が待っているのと一緒に読んでいてもとっても楽しいおはなしです！



工藤千尋

おしらせ



<9月予定>

9月12日(月)～16日(金)は敬老週間でおじいちゃん、おばあちゃんとともに遊んだりおやつを食べたり、楽しい時間を過ごしていただきます。後日日程をお知らせします。

9月26日(月)は親子遠足で王子動物園へ行きます。親子でご参加いただき、親睦を図りたいと思います。9:30にかえで保育園園庭にお集まりください。



<10月予定>

10月29日(土)園庭にて運動発表会を行います。

<人事異動>

事務担当の大坪健二が一身上の都合により8月末をもって退職します。(今後はボランティアで来てくださいます)後任には、柴本 啓子が事務及び保育補助で入ります。

パート保育士の笹原 友子、吉田 幸江、小板橋 円香が保育補助として各クラスをお世話させていただきます。

学生ボランティアで 前田 華奈さん、北中 大賀君 栄養士実習で川上聡子さんが入ります。

どうぞよろしくおねがいします。



「夏祭りの思い出」

8月27日はかえで保育園の夏祭りでしたね。夏祭りと言えば思い出す幼少期の思い出があります。今回はその思い出を少しお話しさせて頂きたいと思います。

私の夏祭りと言えば、大阪の祖母の家へ行き、近所の神社へ妹や従姉弟と浴衣を着て、屋台を楽しむというものでした。

日が暮れる前に子ども達皆でお風呂に入って、浴衣を着せてもらい、その後には祖母からその日夏祭りで使うお金をもらいます。その財布が少し変わっていて、写真のフィルムケースでした。

十円玉、百円玉、五百円玉をケースいっぱいに入れてもらい、一人ずつ名前を書いて手渡してくれます。年を重ねる毎に十円玉の銅色ゾーンが狭くなり、百円、五百円玉の銀色ゾーンが広がっていきます。そのケースを握りしめて、わくわくで足早に神社へ向かいます。まず、お参りをし、それが終わると待ちに待った屋台へ行きます。輪投げやスマートボール、宝釣り、射的・・・そして一番白熱するのが、くじでした。良いように言えば、物事をストレートに見る性格だった為、お店に飾っている大きなぬいぐるみやゲームが当たると信じて疑わず、何度も何度もくじを引きました。そのたびに綺麗に並んでいる大物の景品の裏から小さい景品を手渡されました。竹とんぼや吹き流し、紙風船、めんこ、バッチ、トカゲの消しゴム・・・。

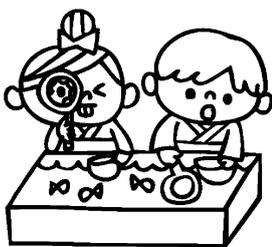
『何で？どこからこの景品が出てくるん？』『この次は飾ってる景品が当たるわ！！』と思う私。くじを引けば引くほど出てくる小さい景品がどこからやってきて、どれ位あるんだろうと不思議で仕方なかった時の情景は今でもはっきりと覚えています。

苦労して勝ち取った品々を持ち帰り、綿あめやベビーカステラを食べながら、祖父母や家族に見せるのがまた楽しかったです。

今思えば、大きいぬいぐるみやゲームより、小さな景品達の方が皆で遊べたり、笑いが巻き起こったりと楽しい時間をたくさん手にできたように思います。

皆さんはどんな思い出をお持ちですか??

このかえで保育園の夏祭りが皆さんの楽しい記憶の一つになれば・・・と思います。



りょうりのへやから



残暑が厳しい季節になりました。まだまだ暑い日が続く中、それでも子供たちは暑さに負けず、元気に遊びまわっているようで、真っ黒に日焼けした肌と真っ白な歯、キラキラした目がすごく印象的です。夏の暑い日も食欲が極端に落ちるといった印象もなく、元気に園で過ごしてくれているようです！

この夏は園ではゴーヤやきゅうりを栽培していて見事収穫をすることができました。取れたお野菜をおりょうりの部屋に持ってきてくれては「せんせい！とれたよお～！」「見て！見て！すごいでしょ？！」と元気いっぱい見せてくれて、「お昼ご飯におかずで出すね」と、いうと嬉しそうにお昼ごはんまで待っていてくれました。少し苦みのあるゴーヤでも「おいしい、おいしい」と嬉しそうに頬張っていて見事完食。自分たちで収穫したものは格別なのかもしれませんね。子どもたちが自分たちで育て、収穫してはごはんにして食べる、というそんな気分をもっともっと味わえるように私たちもお手伝いをしていきたいと思っています。

9月に入ってもなお暑い日が続くかと思えます。担任の先生たちも水分補給にはまだまだ十分に気を配ってくれています。もうしばらくはおうちでも水分補給と塩分の補給を十分にしてください。そしてここで暑い8月でもこどもに大人気だったメニューをここでご紹介します！



☆あじの南蛮漬け☆

材料（こども 1人分）

あじ40g・・1切れ にんじん・・3g たまねぎ・・4g ピーマン・・2g 黄ピーマン・・2g 片栗粉・・ しょうゆ・・2g 砂糖・・2g 酢・・3g みりん・・1g

- 1 あじの切り身に塩をふる。
- 2 片栗粉をまぶして油で揚げる。
(フライパンに少し多めに油をひいて焼くようにあげるだけで大丈夫です！)
- 3 にんじん、たまねぎ、ピーマン、黄ピーマンは千切りにしてさっとゆでる。
- 4 鍋にしょうゆ、酢、砂糖、塩、みりんを入れて煮立て3の野菜と合わせる。
- 5 揚げたてのあじを4に加えて混ぜ合わせ、味をなじませたらできあがり。

“酢”には食欲増進の作用があります。お母さんたちでつわりのあった方ならよくお分かりかと思えます。かえで保育園のこどもたちも酢の物や南蛮漬けなどの酢を使った食事が大好きでパクパク食べてはおかわりしてくれるこどももたくさんいます。

暑い日でも“酢”を使った食事親子元気にこの夏を乗り切りましょう！

児嶋 亜季



めばえ

子どもたちの様子



手足口病が大流行した今年の夏、お休みも多かっためばえ組のお友だちも元気を取り戻しつつあります。元気に保育園に來れ、体調も万全。少しずつ水遊びも復活していきました。

「そろそろ上がろう」と迎えに行くと…、のけぞって嫌がることもしばしば。プールを見るといちもくさんに服のままダイブしようとしたり、夕方外に出たときには、水の入っていないプールに飛び込んで遊んでいたりと…、思わず笑ってしまう姿がたくさん見られました。プール遊びが短い期間で本当に楽しめるようになったと感じます。

また、室内では絵本によく親しむようになりました。「絵本を読もうか」と誘うと、ソファに座り絵本のウォールポケットを一生懸命指差しています。“もう一回！”も上手に伝えるようになり、絵本やわらべ歌の後にはかわいらしい人差し指をピンと立てて保育者にもう一回と伝える姿が見られます。

大人と意味のあるやり取りをすることがどんどんと増えていく中、ふたば組の遊びをじっと観察していたり、手を出してみたり、子ども同士で関わることもだんだんと見られ始めました。上手く伝わらないこと思い通りにならないことからトラブルが生じることもあるかと思いますが、保育者が仲立ちしながらお友達と楽しく遊べる経験をしていきたいと思います。

まだまだ暑い日が続くと思いますが、子どもたちと水に触れたり、涼しくなっていく風を感じたりしながら戸外でたくさん遊んで行こうと思います。汗をかいた時にはシャワーや着替えをして心地よく過ごしていきたいと思います。ロッカーの中のタオルと着替えは十分にご用意ください。

沖守 亜希子

ふたば

夏も本番！さあプールに泥んこあそびと、思いっきり遊ぼう！と思ったものの、手足口病が流行し、夏風邪もやってきて、なかなか”思いっきり”とはなりませんでした。

春から様々な体験をしてきた中で、できることが増えてきたふたば組さん。お友達におもちゃを「どーぞ！」と渡したり、泣いている子の頭をなでてくれたり、「一緒にしよっか！」と手をつないで笑いあったりと、お友達存在に自ら気づくことが増えました。また、お昼ご飯を食べ終わった後は、自分でエプロンと口拭きタオルをカゴのなかへ片付け、イスも机の中になおすことができるようになっていきます。

トイレトレーニングもトイレで排泄するだけでなく、自分でズボンを履こうとしたり、着替えをすすんでする姿も多くみられるようになりました。着替える場所はロッカー前と決め、着替える順番は右から足や手を通すように統一しています。同じことを繰り返される安心感と、次はこうだ、と見通しが持てるようになり、協力的且つ意欲的に取り組むことができます。

また、ロッカーから洋服を選ぶときに「Tシャツ」と「ズボン」の違いを知り、Tシャツ、ズボン、紙パンツのお着替えセットを揃える子までいます。

できたときのうれしい顔や照れ笑いの顔、自信に満ちた笑顔は、とても輝いていますよ！

あっという間に過ぎていく一日のようですが、ふたば組の子どもたちにとっては一歩一歩できることが増えていく、大切な毎日のくり返しなんだと感じます。

これからも子どもたちの自分でやりとげる喜びを感じた時の笑顔がたくさんみられるように、「やる気」を見守っていききたいと思います。

今月は、お天気のよい日に、近くの公園まで遊びに出かける予定です！

中山 英子

つぼみ



8月はプールが大好きだった子どもたち。室内でもたくさん体を動かして、お腹が空いているだろうと食事に誘うと「まだー」「あとでー！」好きな遊びに夢中になって取り組んでいる姿があります。

ブロックが完成すると棚の上に飾り、「これ、〇〇のね。」ととっても満足気です！

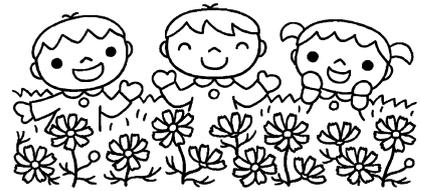
また、プールの後に他クラスへ遊びに行く機会もあり、「ふたば組さんがいい！」「お兄ちゃんお姉ちゃんのところ(幼児さんのお部屋)いく～！」と子どもたちから声があがることも。ふたば組では自分より小さなお友だちが可愛いようで、ぎゅっと抱きしめている微笑ましい姿もありました。幼児さんとは園庭と一緒に「〇〇ちゃんは？一緒に虫捕まえるの！」と同じ楽しさを見つけて遊ぶお友だちもいます。保育士だけでなくお友だちと、つぼみ組だけでなく他のクラスのお友だちと、少しずつ関わりを広げている子どもたちです。お友だちとの関わりが増えるにつれトラブルに繋がることもありますが、思いを言葉にして伝えようとする姿があります。まだ上手く表現できない部分は保育者が代弁しながら、子ども同士の関わりたいという気持ちを大切に见守っていきたいと考えています。

今月はスライムや色水遊びを通して、様々な感触・色を楽しみたいと思います。

また、少しずつ園外へのお散歩にも出かけていく予定です♪

河本 彩奈

いぶき・ひかり・だいち



5月に種をまき、6月に芽吹いたあさがおとひまわりが、南側の景色が見えないぐらいに咲き、子どもたちの中ではあさがおの花を使った色水あそびが流行っています。

8月はあさがおの葉っぱを使った色水あそびや石鹸を使った泡あそびも始めました。

葉っぱの色水は小さなすり鉢に葉っぱをちぎったものを入れ、すりこぎですって作ります。ちぎった葉っぱが大きすぎるとすりにくいことに何回もしていく中で知り、本当のお茶と間違えてしまうぐらい美味しそうなお茶が出来上がりました。洗濯ごっこでは、「暑いね」と言いながら泡立ったタライの中で汚れを落とし、水で石鹸を洗い流し、しっかり絞ってから洗濯バサミで挟んで干すまでを子どもたちにしてもらいました。ハンカチをパンパンと叩いてから干している姿は、家でお母さんたちがしている仕事をよく見ているのだなと感じました。

子どもたちはこのように自分で経験していくことで感動し、考え、それが経験となって心を育て、頭の中に記憶になっていきます。実体験をたくさんすることでたくさん育ってほしいです。

あそんでいく中で、人とのぶつかり合いも体験しています。譲り合って遊ぶ中でも、「早くやらせて！」「変わって！」と小さなトラブルがあります。その際、私たちはしばらくその動向を見守ります。聞こえているのに聞こえないフリをする子、「ちょっと待って」と言いながらもなかなか変わってあげられない子、譲り合って遊ぶというのは難しいことです。相手の思いを知らせていき、それぞれが満足して遊べるよう仲立ちをしていき、友だちとの関係性と深めていけたらと思っています。

中川 奈津子